

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	まちなかチャレンジショップ事業		基本目標	中心商店街の活性化		
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	杉田 将也	評価者	長町 信幸
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 商工業者 意図・目的 商店街に点在する空き店舗の有効活用による商店街の活性化を図る。						
事業の内容	中町名店会、高鍋本町一番街商店会、立花商店街振興会、たかなべ中央とおりのいずれかに所在する空き店舗を活用し事業を行う者(補助対象要件あり)に対し補助金を交付する。 ①空き店舗の賃借に要する家賃(月額):1/2(上限30,000円) 公共・公益性のある事業による家賃は、2/3(上限40,000円) ②改装工事費(実費)::1/2(上限50,000円)						
主な支出項目	22年度決算額	360	千円	23年度予算額	770	千円	
	補助金	360	千円	国庫支出金		千円	
			千円	県支出金		千円	
			千円	地方債		千円	
			千円	一般財源	770	千円	
		千円			千円		
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		まちなかチャレンジショップ事業補助金		
	補助交付団体		空き店舗活用事業者		補助金要綱		
	補助額		360,000	円	補助の形態	臨時的補助	23年度補助額
	団体の決算額		1,200,000	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等		
	補助の割合		30.0	%	補助金検討委員会の対象事業ではない。		

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1	
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1	
	2	

## ◎達成状況

指標名	単位	21年度	22年度	23年度
		目標値		
実績値				
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
目標値				
実績値				
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
目標値				
実績値				
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
目標値				
実績値				
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	まちなかチャレンジショップ事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		14	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性)	商店街の活性化には本事業が必要である。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-	
その他	平成23年度で城下町高鍋まちなか活性化事業への県・町補助が終了する。今後、店舗改装(町屋風、休憩スペースの確保など)のニーズが高まってくることが予想されるため、対応について検討しておく必要があると考えている。			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	コスト			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	◎今まで補助してきた店舗はほとんど残っている。今後、店舗がふえることに期待する。			○	

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎商店街の活性化のためにも空き店舗の活用は必要であり、有効な事業と判断する。 ◎6ヶ月の実績を踏まえて補助していくことから、この事業は空き店舗対策に有効と考える。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	